

副議長就任のごあいさつ

この度の六月定例会において、私は歴史と伝統ある広島県議会の第百七代副議長に就任させていただきました。

まことに光栄に存じますとともに、その職責の重大さを痛感しております。

今後とも、宇田議長を支え、公正かつ円満な議会運営に努め、皆様のご期待に応えるよう一生懸命頑張っております。



〔本会議場での副議長就任のあいさつの様子〕

ご あ い さ つ

蒸し暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

皆様方におかれましては、平素から大変お世話になっており、改めてお礼を申し上げます。

早いもので、私の5期目となる議会期も折り返しの2年が経過しました。残りの任期も、地元福山の発展と県政の重要課題の解決に全身全霊で取り組んでいきますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

さて、昨年5月、アメリカの現職大統領として初めてオバマ大統領が広島を訪問するなど、世界の注目が広島に集まりました。この機を逃すことなく、被爆地の県議会として、核兵器の恐ろしさや非人道性を強く訴えていく責務があります。こうした中、県議会では今年3月、「NPT運用検討会議における核軍縮・核不拡散のさらなる推進に向けた合意文書の採択を求める決議」を議決し、5月には宇田議長と湯崎知事がバチカン市国でローマ法王に広島訪問を直接要請されました。報道では、バチカン市の国内でも、広島を訪問する適切な時期ではないかと検討が進んでいるとのことです。世界に大きな影響力を持つローマ法王の広島訪問が、是非とも実現してほしいと願っています。



〔ローマ法王に親書を手渡す議長と知事の様子〕

一つ嬉しいニュースがありました。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、今年5月、メキシコオリンピックチームの広島での事前合宿に関する基本協定が締結されました。なぜメキシコは広島を選んだのか。それは、第二次世界大戦後、広島が核軍縮に取り組んでいることや、合宿の際に、選手が平和記念資料館等を訪問し体験することが有意義であると判断されたようです。施設面や受入側のサポート面のみではなく、平和に対する取り組みも含めた総合力が評価されての選定となったのではないかと考えます。我が福山市も、メキシコチームの合宿地として多くの選手や関係者に訪れていただき、良い成績を取ってもらって…と期待が膨むところですが、まだ決まったばかりで気が早いですね。

少子・高齢化が一層進む中で、本県も、医療・介護を提供する体制の構築、出産・子育てなどの少子化対策など多くの課題を抱えています。政府は、働き方改革、子育てや介護の環境整備などを重点的に取り組んでいくこととしており、本県も、国の施策に呼応して、少子化対策や定住促進などに積極的に取り組んでまいります。

次に、6月定例県議会は、6月16日から27日までの12日間の日程で開催され、核兵器廃絶への取り組み、ひろしま版ネウボラの構築や子供の貧困対策、観光振興、働き方改革、農業の成長産業化、地方創生など、県政の重要課題について論戦が交わされました。

また、湯崎知事が3期目の知事選出馬を表明されました。8年目を迎える湯崎県政は、これまでの取り組みによって、県民所得の増加や有効求人倍率の改善、総観光客数の増加、がん対策の推進など、目に見える成果が表れています。今後とも湯崎知事と協力しながら、よりよい広島県を作ってまいります。

どうか、皆様の忌憚のないご意見・ご要望をお寄せいただきますとともに、引き続きご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。



[平成29年6月定例県議会の様子]